



晴和病院ニュース

02

Seiwa Hospital News 2025年12月1日

晴和病院の敷地東側には正面とは異なる顔があります。北側住宅地や隣接マンションに繋がる住宅地の顔です。北側に向けてのだんだんテラス、1階外来フロアーにある緑のテラス、周囲の日常の風景に自然に、そしてスムーズにつながっています。



デイケアの今年を振り返って

建て替えを終えて新しい晴和病院に移ってから、気づけば季節も進みすっかり初冬になりました。デイケア室は4階に位置し、デイケア内の4室（自習室含む）、晴和ホールも利用しながら平日と、第1、3土曜日に活動をしています。プログラムの内容は小石川東京病院の頃から大きな変更なく実施していますが、机や椅子の新調、各部屋にディスプレイの設置、wi-fi環境の整備等で快適な運営が出来ていると感じています。また新病院には黒い壁紙のスタイリッシュな展示ホールがあり、プログラムで制作した作品を飾っています。休憩スペースとしても利用でき、憩いの場になっています。平日は主にリワーク・生活支援のコースを行い、生活リズム作りやコミュニケーションスキルや集中力の向上、自己理解を深めること等を目的にプログラムを実施しています。土曜日は主に発達障害専門のコース、平日に来院できない方向けにASDコース、ADHDコース、学生コース、各コースの卒業生向けのコースを実施しています。利用者数は増加傾向で、特に土曜日は受け入れ人数の上限70名に近い人数の利用者（メンバー）が利用されています。

デイケアは利用者が目的を持って通所する治療の場ですが、季節ごとのイベントも行うなど、スタッフもメンバーと一緒に楽しみながら活動をしています。直近では夏祭りや、検査課のスタッフに協力して頂き睡眠講座をするなど院内で他部署との連携を取るような企画も行いました。また先日は東京デイケア連絡会でデイケアの取り組みを紹介したり、成人発達障害支援学会の運営や発達障害専門プログラムのワー



展示ホール



音響設備の整ったルーム！

クショップを行うなど、晴和ホールに多くの機関を招いての取り組みも行っています。プログラムを通して利用者の方の自己理解が深まり、安定した地域生活が送れることを目指すと共に、晴和病院の取り組みと発達障害に対する正しい理解がより多くの人に広がることを目標に日々活動を行っています。ご興味がある方は主治医の先生にご相談頂き、見学に来て頂ければ幸いです。

デイケア主任 村上あゆみ

越生折り紙&小川和紙の里を訪ねて



デイケア・ボランティアとして折り紙を指導している河崎です。11/14(金)は埼玉県民の日。小春日和、絶好の行楽日和となりました。東武鉄道のフリーきっぷを使って県内巡りをしてまいりました。午前中、越生に立ち寄ったところ、駅前ギャラリーに折り紙が展示されていました。主に「花」と「くす玉」です。写真の菊の花は、折り鶴をたくさん集めて作られています。

午後は、寄居まで足を延ばしたあと、和紙の里・小川町に引き返し、1時間あまり滞在しました。折り紙を趣味とする以上、紙についての知識も欠かせません。小川町和紙体験学習センターでスタッフから20分ほど説明を受けました。和紙は丈夫で破れにくいこと、15ほどの工程があること、原料の4%しか残らないこと、等々。和紙で折った折り鶴も展示されていました。他に、小川町の道の駅が今年5月にリニューアルオープンしたそうです。小川町へは月内に再訪したいと思います。

河崎 英一

リニューアルした環境で患者さんに喜んでいただける食事を求めて！

新病院のオープンに伴い、栄養課では「毎日の食事が少しでも楽しみになるように」という思いを込めて、さまざまな取り組みを始めています。入院患者様には週2回、常食を召し上がっている方を対象に“選択食”をご提供しています。限られた入院生活の中でも、ご自身で料理を選べるひとときが楽しみとなれば幸いです。また、院内で勤務されている職員の皆さまにも、平日の昼食時に選択食を導入し、より利用しやすい食事環境づくりを進めています。

食事は味だけでなく、見た目の印象も大切なポイントと考えています。料理の色味がより際立ち、見た瞬間に「美味しそう」と感じていただけるよう、食器類はすべて新しいものへリニューアルしました。入院中でも食事の時間が前向きで豊かなものとなるよう、栄養課一同、日々準備しています。また、厨房設備も一新し、これまで以上に衛生的で安全な環境のもと、安定した食事提供ができる体制を整えました。季節の行事や旬の食材を感じていただけるよう、月2回のイベント食も実施しています。「今日はどんな献立だろう」と思っていただけるよう、心を込めて季節感のある献立づくりに取り組んでいます。

さらに外来では、糖尿病・脂質異常症・肥満症など、食事と深く関わる疾患に対し栄養指導を行っています。食生活の見直しが症状改善につながる場合もありますので、気になる方は主治医へご相談ください。

今後も皆さまに安心してお食事を召し上がっていただけるよう、丁寧な取り組みを続けてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

管理栄養士 鍋木 愛海



来年はイチゴがすすなり！



もみすりして玄米に！



消火器を使った防火訓練



レタスはたくさん収穫！



田植え！来年は稲を倍に！



晴和ホールは多目的に利用しています！

編集後記

オープンして7ヶ月が経過しました。気が付いたことがいくつかあります。1) 建築は「使いまわす」ことができる。一例として、地下1階駐車場、屋外利用空間として、自衛消防訓練をしました。ゆとりをもって計画したので駐車場機能以外の利用が可能です。2) 晴和ホールが思った以上に利用されていること。デイケアや作業療法のみならず、祝祭日のコンサートや講演、研修などが目白押しです。3) だんだんテラスをはじめ屋外スペースの利用をさらに充実したいと思います。田植え、刈り入れ、脱穀もみすり、ハーブティーの会などをグリーンポケット大熊さんのサポートで患者さん、メンバーさん参加で楽しく行うことができました。来年のテーマは関係者制作によるアート作品の展示を充実させたいと思っています。

企画室 南部谷真